

DELIVERY ITEM PROVIDING SERVICE SYSTEM, SERVER, METHOD OF EXCHANGING INFORMATION WITH DELIVERY ITEM PROVIDING TERMINAL, RECORDING MEDIUM AND PROGRAM

Publication number: JP2003271874 (A)

Publication date: 2003-09-26

Inventor(s): TSUMURA JIRO

Applicant(s): DAINIPPON SCREEN MFG

Classification:

- International: G06Q30/00; G06Q50/00; G06Q30/00; G06Q50/00; (IPC1-7): G06F17/60

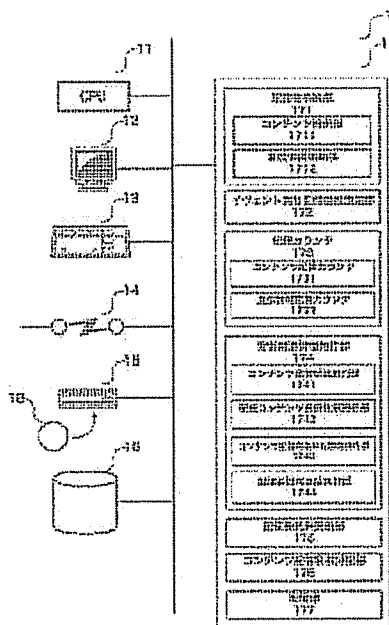
- European:

Application number: JP20020071451 20020315

Priority number(s): JP20020071451 20020315

Abstract of JP 2003271874 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a delivery item providing service system capable of providing a content communicating with provider about the usage status, revision and addition of contents in real time and not requiring an administrator to continuously monitor advertisement information distribution, information exchange with an advertisement information provider. ; **SOLUTION:** A server distributing a distribution item sets event execution distribution times for the distribution items. When the event execution distribution times are reached as a result of repeating distribution of distribution item to a user, distribution relating information is issued to a distribution item provider terminal. Consequently, even if the administrator of the server does not continuously monitor distribution of distribution item, information which the distribution item provider requires can be provided. ;
COPYRIGHT: (C)2003,JPO



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-271874

(P2003-271874A)

(43) 公開日 平成15年9月26日 (2003.9.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 3 0	G 0 6 F 17/60	3 3 0
	3 0 2		3 0 2 E
	Z E C		Z E C

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2002-71451(P2002-71451)

(22) 出願日 平成14年3月15日 (2002.3.15)

(71) 出願人 00020/551

大日本スクリーン製造株式会社

京都府京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

天神北町1番地の1

(72) 発明者 津村 治郎

京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神

北町1番地の1 大日本スクリーン製造株

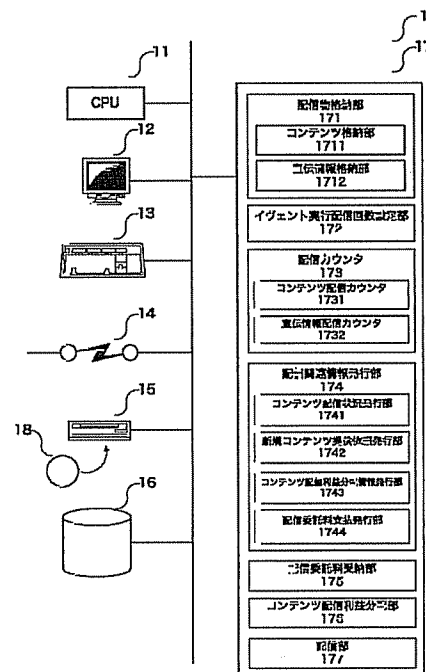
式会社内

(54) 【発明の名称】 配信物提供サービスシステム、サーバ、配信物提供端末との情報交換方法、および記録媒体並びにプログラム

(57) 【要約】

【課題】コンテンツの利用状況や更新、追加についての連絡をリアルタイムにコンテンツ提供者に行なうことができ、宣伝情報の配信や宣伝情報提供者との情報連絡について、管理者が不断の監視を行なわなくともよい、配信物提供サービスシステムを提供することである。

【解決手段】配信物を配信するサーバが、該配信物にイベント実行配信回数を設定し、利用者に対して配信物の配信を繰り返した結果イベント実行配信回数に達したならば、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行するので、配信物の配信についてサーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、配信物提供者が必要とする情報を提供することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】配信物を提供する配信物提供者端末と、該配信物を利用者に配信するサーバとがネットワークで接続された配信物提供サービスシステムであって、前記サーバが、前記配信物提供者端末より送信された配信物を格納する配信物格納手段と、前記配信物にイベント実行配信回数を設定するイベント実行配信回数設定手段と、前記配信物を配信する配信手段と、前記配信手段により前記配信物が配信された回数を取得する配信回数取得手段と、前記配信回数取得手段が取得した配信回数が前記配信物に設定されたイベント実行配信回数に達したとき、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行する配信関連情報発行手段と、を有することを特徴とする配信物提供サービスシステム。

【請求項2】前記配信物がコンテンツであって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として利用者におけるコンテンツ配信状況を発行すること、を特徴とする請求項1に記載の配信物提供サービスシステム。

【請求項3】前記配信物がコンテンツであって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として新規コンテンツの提供依頼を行なう新規コンテンツ提供依頼を発行すること、を特徴とする請求項1に記載の配信物提供サービスシステム。

【請求項4】前記配信物がコンテンツであって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として前記コンテンツ配信により得られた利益を分配するコンテンツ配信利益分配情報であること、を特徴とする請求項1に記載の配信物提供サービスシステム。

【請求項5】前記配信物が宣伝情報であって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として宣伝情報の再配信を実施するために必要な金額を請求するための配信委託料再支払依頼を発行すること、を特徴とする請求項1に記載の配信物提供サービスシステム。

【請求項6】前記配信手段は前記提供依頼発行手段により配信委託料再支払依頼が発行された時、前記宣伝情報の配信を中止すること、を特徴とする請求項5に記載の配信物提供サービスシステム。

【請求項7】前記サーバは前記配信物提供者端末より発行された配信委託料を受信する配信委託料受納手段を備えており、該配信委託料受納手段が前記配信委託料を受納したとき、前記配信手段が前記宣伝情報の配信を再開もしくは継続すること、を特徴とする、請求項6に記載の配信物提供サービスシステム。

【請求項8】ネットワークで接続された配信物提供者端末が配信物を提供する配信物提供サービスシステムのサーバであって、前記配信物提供者端末より送信された配

信物を格納する配信物格納手段と、前記配信物にイベント実行配信回数を設定するイベント実行配信回数設定手段と、前記配信物を配信する配信手段と、前記配信手段により前記配信物が配信された回数を取得する配信回数取得手段と、前記配信回数取得手段が取得した配信回数が前記配信物に設定されたイベント実行配信回数に達したとき、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行する配信関連情報発行手段と、を有することを特徴とする配信物提供サービスシステムのサーバ。

【請求項9】配信物を提供する配信物提供者端末と、該配信物を利用者に配信するサーバとがネットワークで接続された配信物提供サービスシステムにおける配信物提供者端末との情報交換方法であって、前記配信物提供者端末より送信された配信物を格納する配信物格納工程と、前記配信物にイベント実行配信回数を設定するイベント実行配信回数設定工程と、前記配信物を配信する配信工程と、前記配信工程により前記配信物が配信された回数を取得する配信回数取得工程と、前記配信回数取得工程が取得した配信回数が前記配信物に設定されたイベント実行配信回数に達したとき、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行する配信関連情報発行工程と、を有することを特徴とする配信物提供サービスシステムにおける配信物提供者端末との情報交換方法。

【請求項10】請求項8に記載されたサーバをコンピュータで実現するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項11】請求項8に記載されたサーバをコンピュータで実現するためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ネットワークに接続された利用者に対して配信物提供者から提供された配信物をサービスする配信物提供サービスシステムであって、特に配信物提供者に対して配信物の配信関連情報を提供する配信物提供サービスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】高速回線の普及に伴って、さまざまなインターネットを利用したサービスが利用され始めている。例えば、ASP (Application Service Provider) により、アプリケーションソフトウェアをサーバ上に置き、インターネットを介して利用者が該サーバ上のアプリケーションソフトウェアを使用することや、映画やビデオクリップなどの映像コンテンツをサーバより利用者に対してオンデマンドで配信する動画配信などが、高速回線を利用した代表的なインターネットサービスである。通常、このようなサービスを利用者が利用するに際し、通常はサービスに対する料金を支払わなければならない。支払方法については、従来より行なわれている銀行の預金口座からの引き落とし、クレジットカード決済の他に、電子マネーなどによる支払い方法が実現されて

いる。

【0003】あるいは、上記のように利用者がサービスに対する料金を直接支払わずに済むようなコンテンツ提供方法もまた実施されている。すなわち、サーバがコンテンツを提供する際、宣伝広告と一緒に利用者に対して配信することで、宣伝広告依頼者から宣伝料を受領することによりサービス側は利益を捻出するというものである。これは現在テレビやラジオなどの民間放送局による放送サービスと同様の手法であり、利用者の理解も得やすいため、抵抗なく受け入れられており、利用者は、サービスとともに配信された宣伝広告を見ることにより、サービスに対する料金を支払わずに済む。なお、ここで宣伝広告を“見る”とは、サービスに伴って配信された宣伝広告を利用者の端末にただ表示するだけでなく、該表示された宣伝広告部をクリックすることなどにより、詳細な宣伝情報を提示することを意味している。また、配信とは、利用者に対してサーバから連続的にコンテンツを提供するストリーミングや、一括して利用者にコンテンツを提供するダウンロードなどを意味する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】このようなASPが利用者に対して高いサービスを提供するためには、コンテンツ提供者から常に最新のコンテンツの提供を受けなければならない。そのために、ASPは適宜コンテンツ提供者に対してコンテンツに対する利用者のアクセス状況を報告し、それに基づいてコンテンツ提供者にコンテンツの更新、追加を依頼する必要がある。しかし、そのようなアクセス状況の報告やコンテンツの更新、追加依頼をリアルタイムに行なうための作業は、ASPの管理者にとっては大きな負担となっていた。また、コンテンツの更新、追加を行なった代償についても、ASPはコンテンツ提供者に行なわなければならないが、このようなコンテンツ提供者との情報連絡には手間がかかるという問題もあった。

【0005】また、ASPによる宣伝情報の配信については、宣伝情報提供者から宣伝情報配信委託料を受け取って実行するが、この時受け取った配信委託料分以上の宣伝情報を配信しないよう、宣伝情報の配信を管理しなければならない。しかし、従来のような放送による宣伝とは異なり、ASPにより提供される宣伝情報の配信管理は該宣伝情報に対するアクセス数で決定されるので、該アクセス数に達したとき、宣伝情報の配信を停止し、宣伝情報提供者に対して宣伝情報の再配信に係わる委託料を支払うよう連絡する必要があるため、ASPの管理者は宣伝情報のアクセスに対する不断の監視を行なわなければならないという問題があった。また、宣伝情報提供者から宣伝情報配信委託料の再支払が行なわれたならば、即座に宣伝情報の配信を再開するか、あるいは、宣伝情報の配信を中止せず継続しなければならないため、やはりASPの管理者は宣伝情報提供者との情報連絡に

ついても不断の監視を行なわなければならないという問題があった。

【0006】本発明はこのような従来技術の問題を解決するためのものであり、コンテンツの利用状況や更新、追加についての連絡をリアルタイムにコンテンツ提供者に行なうことができ、宣伝情報の配信や宣伝情報提供者との情報連絡について、管理者が不断の監視を行なわなくともよい、配信物提供サービスシステムを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するために、請求項1に係る発明は、配信物を提供する配信物提供者端末と、該配信物を利用者に配信するサーバとがネットワークで接続された配信物提供サービスシステムであって、前記サーバが、前記配信物提供者端末より送信された配信物を格納する配信物格納手段と、前記配信物にイベント実行配信回数を設定するイベント実行配信回数設定手段と、前記配信物を配信する配信手段と、前記配信手段により前記配信物が配信された回数を取得する配信回数取得手段と、前記配信回数取得手段が取得した配信回数が前記配信物に設定されたイベント実行配信回数に達したとき、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行する配信関連情報発行手段と、を有することを特徴としている。

【0008】請求項1に記載の配信物提供サービスシステムは、配信物を配信するサーバが、該配信物にイベント実行配信回数を設定し、利用者に対して配信物の配信を繰り返した結果イベント実行配信回数に達したならば、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行するので、配信物の配信についてサーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、配信物提供者が必要とする情報を提供することができる。

【0009】請求項2に係る発明では、請求項1に記載の配信物提供サービスシステムであって、前記配信物がコンテンツであって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として利用者におけるコンテンツ配信状況を発行すること、を特徴としている。

【0010】請求項2に記載の配信物提供サービスシステムは、配信しているコンテンツがイベント実行配信回数に達したとき、コンテンツ提供者端末に対して配信関連情報として利用者に対するコンテンツ配信についての状況を報告するコンテンツ配信状況を発行するので、サーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、コンテンツが利用者に対して配信されている状況を、コンテンツ提供者に報告することができる。

【0011】加えて請求項3に係る発明では、請求項1に記載の配信物提供サービスシステムであって、前記配信物がコンテンツであって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信

関連情報として新規コンテンツの提供依頼を行なう新規コンテンツ提供依頼を発行すること、を特徴としている。

【0012】請求項3に記載の配信物提供サービスシステムは、配信しているコンテンツがイベント実行配信回数に達したとき、コンテンツ提供者端末に対して配信関連情報としてコンテンツの提供を依頼する新規コンテンツ提供依頼を発行するので、サーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、コンテンツの利用状況に応じて新規コンテンツの提供依頼をコンテンツ提供者に依頼することができる。

【0013】また請求項4に係わる発明では、請求項1に記載の配信物提供サービスシステムであって、前記配信物がコンテンツであって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として前記コンテンツ配信により得られた利益を分配するコンテンツ配信利益分配情報であることを特徴としている。

【0014】請求項4に記載の配信物提供サービスシステムは、配信しているコンテンツがイベント実行配信回数に達したとき、コンテンツ提供者端末に対して配信関連情報として、利用者に対してコンテンツ配信の結果得た利益を分配するコンテンツ配信利益分配情報を発行するので、サーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、コンテンツの利用状況に応じてコンテンツ配信の結果得られた利益を配信提供者に提供することができる。

【0015】また請求項5に係る発明は、請求項1に記載の配信物提供サービスシステムであって、前記配信物が宣伝情報であって、前記サーバの配信関連情報発行手段が、前記配信物提供者端末に対して、前記配信関連情報として宣伝情報の再配信を実施するために必要な金額を請求するための配信委託料再支払依頼を発行すること、を特徴としている。

【0016】請求項5に記載の配信物提供サービスシステムは、配信している宣伝情報がイベント実行配信回数に達したとき、配信関連情報として宣伝情報の再配信を実施するための配信委託料再支払依頼を発行するので、サーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、宣伝情報の配信について配信委託料の再支払依頼を実行することができる。

【0017】更に請求項6に係る発明は、請求項5に記載の配信物提供サービスシステムであって、前記配信手段は前記提供依頼発行手段により配信委託料再支払依頼が発行された時、前記宣伝情報の配信を中止すること、を特徴としている。

【0018】請求項6に記載の配信物提供サービスシステムは、配信している宣伝情報がイベント実行配信回数に達したとき、宣伝情報の配信委託料再支払依頼を発行すると同時に、該宣伝情報の配信を中止するので、サーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、配信委託

料の再支払依頼を実行するとともに、必要以上の宣伝情報の配信を行なうことがない。

【0019】また請求項7に係る発明は、請求項6に記載の配信物提供サービスシステムであって、前記サーバは前記配信物提供者端末より発行された配信委託料を受信する配信委託料受納手段を備えており、該配信委託料受納手段が前記配信委託料を受納したとき、前記配信手段が前記宣伝情報の配信を再開もしくは継続すること、を特徴としている。

【0020】請求項7に記載の配信物提供サービスシステムは、配信委託料再支払依頼を発行したことを受けて、宣伝情報提供者が発行した配信委託料を受納する配信委託料受納手段を備えているので、サーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、配信委託料受納に応じて宣伝情報の配信を再開もしくは継続することができる。

【0021】更に請求項8に係る発明では、ネットワークで接続された配信物提供者端末が配信物を提供する配信物提供サービスシステムのサーバであって、前記配信物提供者端末より送信された配信物を格納する配信物格納手段と、前記配信物にイベント実行配信回数を設定するイベント実行配信回数設定手段と、前記配信物を配信する配信手段と、前記配信手段により前記配信物が配信された回数を取得する配信回数取得手段と、前記配信回数取得手段が取得した配信回数が前記配信物に設定されたイベント実行配信回数に達したとき、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行する配信関連情報発行手段と、を有することを特徴としている。

【0022】請求項8に記載のサーバは、該配信物にイベント実行配信回数を設定し、利用者に対して配信物の配信を繰り返した結果イベント実行配信回数に達したならば、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行するので、配信物の配信についてサーバの管理者が不断の監視を行なわずとも、配信物提供者が必要とする情報を提供することができる。

【0023】加えて請求項9に係る発明では、配信物を提供する配信物提供者端末と、該配信物を利用者に配信するサーバとがネットワークで接続された配信物提供サービスシステムにおける配信物提供者端末との情報交換方法であって、前記配信物提供者端末より送信された配信物を格納する配信物格納工程と、前記配信物にイベント実行配信回数を設定するイベント実行配信回数設定工程と、前記配信物を配信する配信工程と、前記配信工程により前記配信物が配信された回数を取得する配信回数取得工程と、前記配信回数取得工程が取得した配信回数が前記配信物に設定されたイベント実行配信回数に達したとき、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行する配信関連情報発行工程と、を有することを特徴としている。

【0024】請求項9に記載の配信物提供端末との情報交換方法は、配信物を配信するサーバが、該配信物にイ

ヴェント実行配信回数を設定し、利用者に対して配信物の配信を繰り返した結果イベント実行配信回数に達したならば、配信物提供者端末に対して配信関連情報を発行するので、配信物の配信についてサーバの管理者が不断の監視を行わずとも、配信物提供者が必要とする情報を提供することができる。

【0025】また請求項10に係わる発明は、請求項8に記載されたサーバをコンピュータで実現するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0026】請求項10に記載の記録媒体は、請求項8に記載のサーバを実現するためのプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体なので、一般的なコンピュータを請求項8に記載のサーバとして実現することができる。

【0027】更に請求項11に係わる発明は、請求項8に記載されたサーバをコンピュータで実現するためのプログラムである。

【0028】請求項11に記載のプログラムは、請求項8に記載のサーバを実現するためのプログラムなので、一般的なコンピュータを請求項8に記載のサーバとして実現することができる。

【0029】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例について、説明を行なう。図1は、本発明を実施した配信物提供サービスシステム100の構成を説明するための図である。配信物提供サービスシステム100は、サーバ1、利用者端末2、コンテンツ提供者端末3、宣伝情報提供者端末4、ネットワーク5で構成されている。

【0030】コンテンツ提供者端末3は、サーバ1にコンテンツCTを提供する。その代償として、サーバ1による利用者に対するコンテンツCTの配信で得た利益を得ることができる。

【0031】宣伝情報提供者端末4は、サーバ1に宣伝情報SJを提供する。その際配信委託料をサーバ1の管理者に支払うことにより、サーバ1より宣伝情報SJを利用者端末2に配信してもらうことができる。

【0032】ネットワーク5は、インターネットなどの広域ネットワーク網であり、サーバ1と利用者端末2、またサーバ1とコンテンツ提供者3、宣伝情報提供者4をそれぞれ接続しており、コンテンツCT、宣伝情報SJはこのネットワーク5を介してコンテンツ提供者端末3、宣伝情報提供者端末4からサーバ1に提供される。

【0033】サーバ1は、コンテンツ提供者端末3、宣伝情報提供者端末4から提供を受けたコンテンツCT、宣伝情報SJを、利用者端末2に配信するサービスを行なう。

【0034】利用者端末2は、所望するコンテンツCTを利用するに際してサーバ1にアクセスし、コンテンツCTの提供を受ける。その際必要に応じて宣伝情報SJ

についても提供を受ける。

【0035】図2は、本発明に係わるサーバ1の構成を説明するための図である。サーバ1は、一般的に使用されているパーソナルコンピュータであり、CPU11、表示部12、入力部13、ネットワークI/F14、メディアドライブ15、記憶部16、メモリ17より構成されている。CPU11は、サーバ1全体を制御し、特にメディアドライブ15に挿入されたメディアディスク18に記録されているプログラムをメモリ17において実行することによって、サーバ1の機能を実現している。表示部12は、コンテンツCT、宣伝情報SJ配信処理に必要な情報を表示するために使用される。入力部13は、マウスやキーボードで構成されており、サーバ1に対してオペレータが指示を入力するために使用する。ネットワークI/F14は、サーバ1とネットワーク5とを接続するためのものである。ネットワークI/F14を介して、サーバ1はネットワーク5に接続されているコンテンツ提供者端末3、宣伝情報提供者端末4からコンテンツCT、宣伝情報SJを受信し、利用者端末2にコンテンツCT、宣伝情報SJを提供する。また、図示しないサーバより、サーバ1の機能を実現するプログラムをダウンロードすることも可能である。メディアドライブ15は、メディアディスク18に記録されているプログラムを読み取るために使用する。メディアドライブ15で読み取られたプログラムにより、サーバ1の機能が実現される。記憶部16は、メディアドライブ15で読み取られたプログラムを格納する。

【0036】メモリ17は、記憶部16によって記憶されたプログラムをCPU11が実行するためのワークエリアである。CPU11によってプログラムが実行された結果、メモリ17において、配信物格納部171、イベント実行配信回数設定部172、配信カウンタ173、配信関連情報発行部174、配信委託料受納部175、コンテンツ配信利益分配部176、配信部177の機能が実現する。

【0037】配信物格納部171は、コンテンツ提供者端末3から提供されたコンテンツCT、宣伝情報提供者端末4から提供された宣伝情報SJを格納する。そのため、配信物格納部171はコンテンツ格納部1711、宣伝情報格納部1712を備えている。コンテンツ格納部1711は、コンテンツ提供者端末3から提供されたコンテンツCTを格納する。コンテンツ格納部1711は、複数のコンテンツCTを格納することができる。コンテンツ格納部1711に格納されたコンテンツCTは、利用者端末2からの要求に応じて、後述する配信部177よりネットワーク5を介して、該利用者端末2に配信される。宣伝情報格納部1712は、宣伝情報提供者端末4から提供された宣伝情報SJを格納する。宣伝情報格納部1712は、複数の宣伝情報SJを格納することができる。宣伝情報格納部1712に格納された宣

伝情報S Jは、利用者端末2からの要求に応じて、後述する配信部177よりネットワーク5を介して、該利用者端末2に配信される。なお、コンテンツ格納部1711、宣伝情報格納部1712は、記憶部16に構成するようにしてもよい。

【0038】また、配信物格納部171は、コンテンツ格納部1711に格納されたコンテンツCTに対してコンテンツ利用ポイントCPを設定する。コンテンツ利用ポイントCPとは、コンテンツCTの利用について課金を行なう際に参照される数値である。配信物格納部171は、コンテンツ利用ポイントCPの1ポイントに対して料金mを設定した上で、コンテンツCTの課金額に相当するコンテンツ利用ポイントCPをコンテンツCTに設定する。複数のコンテンツCTがコンテンツ格納部1711に格納されている場合、配信物格納部171は、複数のコンテンツCTそれぞれにコンテンツ利用ポイントCPを設定する。さらに、配信物格納部171は、宣伝情報格納部1712に格納された宣伝情報S Jに対して宣伝情報視聴ポイントSPを設定する。宣伝情報視聴ポイントSPとは、コンテンツCTを使用した際に賦される課金を割り引くために使用される数値である。配信物格納部171は、コンテンツCTの課金割引に適当な宣伝情報視聴ポイントSPを宣伝情報S Jに設定する。複数の宣伝情報S Jが宣伝情報格納部1712に格納されている場合、配信物格納部171は、複数の宣伝情報S Jそれぞれに宣伝情報視聴ポイントSPを設定する。

【0039】イベント実行配信回数設定部172は、配信物格納部171に格納された配信物に対して、イベント実行配信回数ECを設定する。イベント実行配信回数ECは、後述する配信関連情報発行部174による配信関連情報の配信を実行する際の配信回数およびイベント内容が定義されている。配信物が繰り返し配信され、イベント実行配信回数ECに達したとき、配信関連情報発行部174は該イベント実行配信回数ECに定義されたイベントに基づく配信関連情報を発行する。また、宣伝情報S Jについては、配信回数がイベント実行配信回数ECに達したとき、後述する配信部177において、宣伝情報S Jの配信を中止する。

【0040】配信カウンタ173は、配信物が後述する配信部177により配信された回数をカウントする。そのため、配信カウンタ173は、コンテンツ配信カウンタ1731、宣伝情報配信カウンタ1732を備えている。コンテンツ配信カウンタ1731は、配信部177によりコンテンツCTが配信されたとき、該配信についてカウントするためのものである。コンテンツ配信カウンタ1731は、コンテンツ格納部1711に格納されたコンテンツCTそれぞれに設定されており、複数のコンテンツCTそれぞれについてコンテンツ配信回数CCをカウントすることができる。宣伝情報配信カウンタ1732は、配信部177により宣伝情報S Jが配信され

たとき、該配信についてカウントするためのものである。宣伝情報配信カウンタ1732は、宣伝情報格納部1712に格納された宣伝情報S Jそれぞれに設定されており、複数の宣伝情報S Jそれぞれについて宣伝情報配信回数SCをカウントすることができる。

【0041】配信関連情報発行部174は、配信物の配信回数がイベント実行配信回数設定部172により設定されたイベント実行配信回数ECに達したとき、該イベント実行配信回数ECに定義されたイベントとして、コンテンツ提供者3、あるいは宣伝情報提供者4に対して配信関連情報を発行する。配信関連情報発行部174が発行する配信関連情報として、コンテンツ提供者端末3に対しては、利用者端末2に対するコンテンツCTの配信状況についてのコンテンツ配信状況、新規コンテンツの提供を依頼する新規コンテンツ提供依頼、そしてコンテンツ提供者に対してコンテンツCT提供の結果得られた利益を分配することについてのコンテンツ配信利益分配情報などが存在する。また、宣伝情報提供者端末4に対しては、宣伝情報S Jを配信するに際して宣伝情報提供者に対して配信委託料支払を請求する配信委託料支払発行などが存在する。

【0042】このような配信関連情報を発行するため、配信関連情報発行部174は、コンテンツ配信状況発行部1741、新規コンテンツ提供依頼発行部1742、コンテンツ配信利益分配情報発行部1743、配信委託料支払発行部1744を備えている。

【0043】コンテンツ配信状況発行部1741は、コンテンツ提供者端末3に対して、利用者に対するコンテンツCTの配信状況を発行する。利用者によりコンテンツCTの利用状況は、コンテンツCTの人気を知る上で、コンテンツ提供者が必須とする情報である。そこで、コンテンツ配信状況発行部1741は、コンテンツCT配信が繰り返された結果、イベント実行配信回数ECに達したとき、該イベント実行配信回数ECに達したことをコンテンツ配信状況として、コンテンツ提供者端末3に通知する。コンテンツ提供者は、該コンテンツ配信状況を参照し、今後のコンテンツCT提供の判断についての参照を行なうことができる。

【0044】新規コンテンツ提供依頼発行部1742は、コンテンツ提供者端末3に対して、新規コンテンツ提供依頼を発行する。利用者に対するコンテンツCTの配信が繰り返された結果、コンテンツCTは消尽され、新規コンテンツCTを必要とすることになる。そこで、コンテンツCTの配信回数がイベント実行配信回数ECに達したとき、新規コンテンツ提供依頼発行部1742は、コンテンツ提供者端末3に対して新規コンテンツ提供依頼を発行する。コンテンツ提供者は、該新規コンテンツ提供依頼を参照し、新規コンテンツCTの提供の有無を決定する。

【0045】コンテンツ配信利益分配情報発行部174

3は、コンテンツ提供者端末3に対して、コンテンツ配信利益分配情報を発行する。利用者に対するコンテンツCTの配信が繰り返された結果、コンテンツCT配信による利益が発生する。そこで、コンテンツCTの配信回数がイベント実行配信回数ECに達したとき、コンテンツ配信利益分配情報発行部1743は、コンテンツ提供者端末3に対してコンテンツ配信利益分配情報を発行する。コンテンツ提供者は、該コンテンツ配信利益分配情報を参照し、今後のコンテンツCT提供の判断についての参照を行なうことができる。

【0046】配信委託料支払発行部1744は、宣伝情報提供者端末4に対して、宣伝情報SJを配信する際に必要となる配信委託料を請求するための配信委託料支払を発行する。宣伝情報提供者より宣伝情報SJの配信を委託されたとき、配信委託料支払発行部1744は、配信委託料を請求するため、宣伝情報提供者端末4に対して配信委託料支払発行を発行する。また、宣伝情報SJの配信を繰り返した結果、イベント実行配信回数ECに達したとき、配信委託料支払発行部1744は再度配信委託料支払発行を宣伝情報提供者端末4へ発行する。この時、宣伝情報提供者が宣伝情報格納部1712に格納されている宣伝情報SJを再度サーバ1より配信したい場合には、配信委託料支払発行部1744の配信委託料支払発行に応じて、後述する配信委託料受納部175に配信委託料の支払を行なう。

【0047】配信委託料受納部175は、宣伝情報提供者端末4から送信された配信委託料を受納する。宣伝情報提供者は、利用者に宣伝情報SJを配信してもらうため、サーバ1の管理者に配信委託料を支払う必要がある。そこで、宣伝情報提供者端末4より送信された配信委託料を、配信委託料受納部175は受納する。また、配信委託料受納部175は、宣伝情報SJの再配信をサーバ1に委託する場合にも、宣伝情報提供者端末4からの配信委託料を受納する。なお、配信委託料は、Webマネー等のようなインターネット上で直接的に流通可能な情報であってもよいし、サーバ1の銀行口座に対して配信委託料を振り込んだことを通知するような情報であってもよい。

【0048】コンテンツ配信利益分配部176は、利用者に対してコンテンツCTを配信した結果得られた利益を分配する。コンテンツCTを配信した利益の源は、利用者が直接コンテンツCTを利用したことに対するコンテンツ利用料や、宣伝情報SJを視聴したことによる配信委託料である。コンテンツ配信利益分配部176は、コンテンツCTを配信した結果得られた利益を、サーバ1の管理者とコンテンツ提供者に分配する。

【0049】配信部177は、コンテンツ格納部1711、宣伝情報格納部1712に格納されたコンテンツCT、宣伝情報SJを、利用者端末2に配信する。配信部177は、利用者端末2からの要求に応じて、ネットワ

ークI/F14を介して、ネットワーク5を経て、コンテンツCT、宣伝情報SJを該利用者端末2に配信する。また、配信部177は、宣伝情報SJについて、該宣伝情報SJの配信回数がイベント実行配信回数ECに達していた場合、該宣伝情報SJの配信を中止する。これにより、配信委託料以上に宣伝情報SJの配信を行なうことなく、配信物提供サービスシステムのコスト割れを防ぐことができる。加えて、該宣伝情報SJについて、配信委託料受納部175が該宣伝情報SJに対する再配信のための配信委託料支払を受信した場合、配信部177は該宣伝情報SJの配信を再開する。

【0050】「コンテンツCT配信に関わる配信物関連情報発行処理」図3は、配信物提供サービスシステム100の全体的な動作を説明するためのフローチャートである。ステップS1で、サーバ1は、コンテンツ提供者端末3からコンテンツCTの提供を受ける。ネットワーク5を介して、コンテンツ提供者はコンテンツ提供者端末3よりコンテンツCTをサーバ1へ送信する。コンテンツCTを受信したサーバ1は、配信物格納部171に備えられたコンテンツ格納部1711に格納する。また、配信物格納部171は、サーバ1のオペレータによる入力部13の操作により、コンテンツ格納部1711に格納されたコンテンツCTに対して、コンテンツ利用ポイントCPを設定する。複数のコンテンツCTがコンテンツ格納部1711に格納された場合、配信物格納部171は、複数のコンテンツCTそれぞれにコンテンツ利用ポイントCPを設定する。

【0051】ステップS2において、コンテンツ格納部1711に格納されたコンテンツCTに対して、イベント実行配信回数設定部172がイベント実行配信回数ECを設定する。サーバ1のオペレータが、入力部13を操作して、イベント実行配信回数設定部172を実行することにより、コンテンツCTにイベント実行配信回数ECが設定される。

【0052】コンテンツCTにおいて、設定すべきイベント実行配信回数ECとしては、利用者に対するコンテンツCTの配信状況をコンテンツ提供者に通知するコンテンツ配信状況を発行するコンテンツ配信状況イベント実行配信回数ECH、コンテンツ提供者に対してコンテンツCTの提供を新規に依頼する新規コンテンツ提供依頼を発行するイベントを実行する新規コンテンツ提供依頼イベント実行配信回数ECN、そして、コンテンツ提供者に対してコンテンツCT配信の結果得られた利益を分配するコンテンツ配信利益分配情報を通知するイベントを実行するコンテンツ配信利益分配情報イベント実行配信回数ECRなどである。サーバ1のオペレータは、イベント実行配信回数設定部172の機能により、コンテンツCTに対して、コンテンツ配信状況イベント実行配信回数ECH、新規コンテンツ提供依頼イベント実行配信回数ECN、コンテンツ配信利

益分配情報イベント実行配信回数ECRを設定する。

【0053】図4は、コンテンツ格納部1711に格納されたコンテンツCTの構成を説明するための図である。コンテンツCTは、そのヘッダ部に、コンテンツデータ名、コンテンツ名称、コンテンツ形式、コンテンツ利用ポイント、イベント実行配信回数等複数の項目に関する情報を格納している。コンテンツデータ名は、コンテンツCTとして提供するデータの名称を格納している。コンテンツ名称は、該コンテンツCTの名称を格納している。コンテンツ形式は、該コンテンツCTのデータ形式について格納している。コンテンツCTのデータ形式としては、動画を取り扱うMPEG (Moving Pictures Experts Group) 形式、音楽を取り扱うMP3 (MPEG Audio Layer 3) 形式などが代表的なものである。無論、コンテンツCTのデータ形式は前記のデータ形式に限られることはない。コンテンツ利用ポイントは、配信物格納部171により設定されたコンテンツ利用ポイントCPを格納している。前述のとおり、コンテンツ利用ポイントは、該コンテンツCTを利用した際に賦課される課金を算出するために使用される。イベント実行配信回数は、該コンテンツCTにおけるイベント実行配信回数を格納している。コンテンツCTに設定されるイベント実行配信回数としては、コンテンツ配信状況イベント実行配信回数ECH、新規コンテンツ提供依頼イベント実行配信回数ECN、コンテンツ配信利益分配情報イベント実行配信回数ECRなどである。後述するプロセスにおいて、コンテンツCTの配信回数CCが、このイベント実行配信回数に格納されたイベント実行配信回数ECに達したとき、配信関連情報発行部174により、イベント実行配信回数それぞれに設定されたイベントが実行される。

【0054】図4に示したコンテンツCTにおいては、コンテンツデータ名が「fishing.mpg」であり、コンテンツ名称として「Let's fishing」という番組名が格納されており、コンテンツ形式として「MPEG」が格納されている。また、コンテンツ利用ポイントには「100p」が格納されていることから、このコンテンツCTに設定されたコンテンツ利用ポイントCPは100ポイントということになる。そして、イベント実行配信回数においては、コンテンツ配信状況イベント実行配信回数に「every 100」、新規コンテンツ提供依頼イベント実行配信回数に「only 10000」、コンテンツ配信利益分配情報イベント実行配信回数に「every 1000」が格納されている。すなわち、後述するプロセスにおいて、該コンテンツCTの配信回数が100毎にコンテンツ配信状況が該コンテンツCTを提供したコンテンツ提供者端末3に送信され、該コンテンツCTの配信回数が10000に達したとき新規コンテンツ提供依頼が該コンテンツCTを提供したコンテンツ提供者端末3に送信され、該コンテンツCTの配信回数が1000毎にコン

テンツ配信利益分配情報が該コンテンツCTを提供したコンテンツ提供者端末3に送信されることになる。

【0055】ステップS3で、コンテンツ配信カウンタ1731をリセットし、コンテンツ配信回数CCを0とする。複数のコンテンツCTがコンテンツ格納部1711に格納された場合には、該複数のコンテンツCTそれぞれに設定されたコンテンツ配信カウンタ1731をそれぞれリセットし、該複数のコンテンツ配信回数CCをそれぞれ0とする。

【0056】ステップS4において、利用者端末2からの要求に応じて、サーバ1はコンテンツCTを配信する。配信部177は、利用者が所望するコンテンツCTをコンテンツ格納部1711から読出し、ネットワークI/F14を介して、ネットワーク5を経て、利用者端末2に配信する。

【0057】ステップS5では、ステップS4におけるコンテンツCT配信により、該コンテンツCTに対応するコンテンツ配信カウンタ1731において、コンテンツ配信回数CCに1を加算する。

【0058】ステップS6において、配信関連情報発行部174が、コンテンツ配信カウンタ1731のコンテンツ配信回数CCを参照し、該コンテンツCTに設定されたイベント実行配信回数ECと一致したか否かを判定する。一致しなかった場合には、ステップS4へ帰還し、コンテンツCTの配信を繰り返す。

【0059】コンテンツ配信回数CCが、該コンテンツCTに設定されたイベント実行配信回数ECと一致した場合には、ステップS7へ移行し、イベント実行配信回数ECに設定されたイベントを、配信関連情報発行部174が実行する。

【0060】コンテンツ配信回数CCが、コンテンツ配信状況イベント実行配信回数ECHと一致した場合には、配信関連情報発行部174に備えられたコンテンツ配信状況発行部1741が該コンテンツCTのコンテンツ配信状況をコンテンツ提供者端末3に発行する。コンテンツ配信状況発行部1741は、コンテンツ配信カウンタ1731のコンテンツ配信回数CCを参照して、該コンテンツ配信回数CCの数値分利用者端末2にコンテンツCTが配信されたことを、コンテンツ提供者に通知する。これにより、コンテンツ提供者は、コンテンツCTの配信状況を知ることができ、コンテンツCTの作成やコンテンツCTを提供する際に参照することができ

る。

【0061】図4に示したコンテンツCTの場合、コンテンツ配信状況イベント実行配信回数ECHに「every 100」が格納されていることから、コンテンツCTの配信回数が100回毎に、コンテンツ配信状況発行部1741がコンテンツCTの配信状況を、コンテンツ提供者端末3へ発行する。

【0062】コンテンツ配信回数CCが、新規コンテン

ツ提供依頼イベント実行配信回数ECNと一致した場合には、配信関連情報発行部174に備えられた新規コンテンツ提供依頼発行部1742が、新規コンテンツ提供依頼をコンテンツ提供者端末3に発行する。これにより、コンテンツ提供者は、適当な時期に新規コンテンツを提供することができる。

【0063】図4に示したコンテンツCTの場合、新規コンテンツ提供依頼イベント実行配信回数ECNに「only 10000」が格納されていることから、コンテンツCTの配信回数が10000回に達したときのみ、新規コンテンツ提供依頼発行部1742が新規コンテンツ提供依頼を、コンテンツ提供者端末3に発行する。

【0064】コンテンツ配信回数CCが、コンテンツ配信利益分配情報イベント実行配信回数ECRと一致した場合には、配信関連情報発行部174に備えられたコンテンツ配信利益分配情報発行部1743が、コンテンツ配信利益分配情報をコンテンツ提供者端末3に発行する。これにより、コンテンツ提供者は、適当な時期にコンテンツCTを利用者に配信した結果得られた利益を享受することができる。利用者によるコンテンツCTの利用料金や、後述する宣伝情報SJの配信委託料を原資として、コンテンツ提供者に対するコンテンツ配信利益が、コンテンツ配信利益分配部176により算出される。コンテンツ配信利益は、例えば、(1)コンテンツ配信回数CC×コンテンツ利用ポイントCP×分配金nという計算より求めることができる。ここで分配金nとは、サーバ1の管理者がコンテンツ提供者との契約により決定した利益分配時の金額である。無論、上記の計算式以外によりコンテンツ配信利益を、コンテンツ配信利益分配部176が算出するようにしてもよい。

【0065】図4に示したコンテンツCTの場合、コンテンツ配信利益分配情報イベント実行配信回数ECRに「every 1000」が格納されていることから、コンテンツCTの配信回数が1000回毎に、コンテンツ配信利益分配部176がコンテンツCTを配信したことによるコンテンツ配信利益を算出し、コンテンツ配信利益分配情報発行部1743がコンテンツ配信利益分配情報を、コンテンツ提供者端末3に発行する。

【0066】ステップS7のプロセスが終了したならば、ステップS4へ帰還し、サーバ1はコンテンツCTの配信を繰り返す。

【0067】従って、図1に示した配信物提供サービスシステム100において、図3のフローチャートに示した動作により、コンテンツCTに関する配信関連情報をコンテンツ提供者に対して発行することにより、コンテンツの利用状況や更新、追加についての連絡をリアルタイムにコンテンツ提供者に行なうことができ、管理者が不断の監視を行なわなくともよい、配信物提供サービスシステムを提供することが可能となる。

【0068】「宣伝情報SJ配信に関わる配信物関連情

報発行処理」図5は、配信物提供サービスシステム100の全体的な動作を説明するためのフローチャートである。

【0069】ステップS11で、サーバ1は、宣伝情報提供者端末4から宣伝情報SJの提供を受ける。ネットワーク5を介して、宣伝情報提供者は宣伝情報提供者端末4より宣伝情報SJをサーバ1へ送信する。宣伝情報SJを受信したサーバ1は、配信物格納部171に備えられた宣伝情報格納部1712に格納する。また、配信物格納部171は、サーバ1のオペレータが入力部13を操作することにより、宣伝情報格納部1712に格納された宣伝情報SJに対して、宣伝情報視聴ポイントSPを設定する。複数の宣伝情報SJが宣伝情報格納部1712に格納された場合、配信物格納部171は、複数の宣伝情報SJそれぞれに宣伝情報視聴ポイントSPを設定する。

【0070】ステップS12において、宣伝情報格納部1712に格納された宣伝情報SJに対して、イベント実行配信回数設定部172がイベント実行配信回数ECを設定する。サーバ1のオペレータが、入力部13を操作して、イベント実行配信回数設定部172を実行することにより、宣伝情報SJにイベント実行配信回数ECが設定される。

【0071】宣伝情報SJにおいて、設定すべきイベント実行配信回数ECとしては、宣伝情報提供者に対して配信委託料の再支払を要求する配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWである。サーバ1のオペレータは、イベント実行配信回数設定部172の機能により、宣伝情報SJに対して、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWを設定する。

【0072】図6は、宣伝情報格納部1712に格納された宣伝情報SJの構成を説明するための図である。宣伝情報SJは、そのヘッダ部に、宣伝情報データ名、宣伝情報名称、宣伝情報形式、宣伝情報視聴ポイント、イベント実行配信回数等複数の項目に関する情報を格納している。宣伝情報データ名は、宣伝情報SJとして提供するデータの名称を格納している。宣伝情報名称は、該宣伝情報SJの名称を格納している。宣伝情報形式は、該宣伝情報SJのデータ形式について格納している。宣伝情報SJのデータ形式としては、動画を取り扱うMPEG (Moving Pictures Experts Group) 形式、音楽を取り扱うMP3 (MPEG Audio Layer 3) 形式などが代表的なものである。無論、宣伝情報SJのデータ形式は前記のデータ形式に限られることはない。宣伝情報視聴ポイントは、配信物格納部171により設定された宣伝情報視聴ポイントSPを格納している。前述のとおり、宣伝情報視聴ポイントは、該宣伝情報SJを視聴した際にコンテンツCTの課金を軽減するために使用される。イベント実行配信回数は、該宣伝情報SJにおけるイベント実行配信回数を格納している。宣伝情報S

Jに設定されるイベント実行配信回数は、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWである。後述するプロセスにおいて、宣伝情報SJの配信回数が、このイベント実行配信回数に格納されたイベント実行配信回数に達したとき、イベント実行配信回数に設定されたイベントが実行される。

【0073】図6に示した宣伝情報SJにおいては、宣伝情報データ名が「lure.mpg」であり、宣伝情報名称として「ルアー宣伝」という番組名が格納されており、宣伝情報形式として「MPEG」が格納されている。また、宣伝情報視聴ポイントには「25p」が格納されていることから、この宣伝情報SJに設定された宣伝情報視聴ポイントSPは25ポイントということになる。そして、イベント実行配信回数においては、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWに「only 10000」が格納されている。すなわち、後述するプロセスにおいて、該宣伝情報SJの配信回数が10000回に達したとき該宣伝情報SJを提供した宣伝情報提供者端末4に配信委託料再支払が送信される。

【0074】ステップS13で、宣伝情報配信カウンタ1732をリセットして、宣伝情報配信回数SCを0とする。複数の宣伝情報SJが宣伝情報格納部1712に格納された場合には、該複数の宣伝情報SJそれぞれに設定された宣伝情報配信カウンタ1732をそれぞれリセットし、宣伝情報配信回数SCをそれぞれ0とする。

【0075】ステップS14において、利用者端末2からの要求に応じて、サーバ1は宣伝情報SJを配信する。配信部177は、利用者が所望する宣伝情報SJを宣伝情報格納部1712から読出し、ネットワークI/F14を介して、ネットワーク5を経て、利用者端末2に配信する。

【0076】ステップS15では、ステップS4における宣伝情報SJ配信により、該宣伝情報SJに対応する宣伝情報配信カウンタ1732の宣伝情報配信回数SCに1を加算する。

【0077】ステップS16において、配信関連情報発行部174が、宣伝情報配信カウンタ1732の宣伝情報配信回数SCを参照し、該宣伝情報SJに設定されたイベント実行配信回数ECと一致したか否かを判定する。一致しなかった場合には、ステップS14へ帰還し、宣伝情報SJの配信を繰り返す。

【0078】宣伝情報配信回数SCが、該宣伝情報SJに設定されたイベント実行配信回数ECと一致した場合には、ステップS17へ移行し、イベント実行配信回数ECに設定されたイベントを、配信関連情報発行部174が実行する。

【0079】宣伝情報配信回数SCが、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWと一致した場合には、配信関連情報発行部174に備えられた配信委託料支払発行部1744が、配信委託料支払通知を該宣伝情

報SJの宣伝情報提供者端末4に発行する。これにより、宣伝情報提供者は、宣伝情報SJが配信委託料分配されたことを知ることができ、再び配信委託料を支払って宣伝情報SJの配信を続行するか、あるいは新規に宣伝情報SJを作成して配信するかを選択することができる。

【0080】図6に示した宣伝情報SJの場合、宣伝情報配信状況イベント実行配信回数ECHに「only 10000」が格納されていることから、宣伝情報SJの配信回数が10000回に達したときのみに、配信委託料支払発行部1744が配信委託料支払発行、宣伝情報提供者端末4に発行する。

【0081】また、ステップS18において、配信部177が、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWに達した宣伝情報SJの配信を中止する。配信部177は、宣伝情報SJの配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWを参照し、宣伝情報配信カウンタ1732の宣伝情報配信回数SCと比較する。比較の結果、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWと宣伝情報配信回数SCとが一致した場合、配信部177は該宣伝情報SJの配信を中止する。

【0082】ステップS19では、配信委託料受納部175が、宣伝情報提供者端末4からの配信委託料受納について待機する。宣伝情報提供者が、配信委託料再支払発行イベント実行配信回数ECWに達した宣伝情報SJについて再度配信を希望する場合には、サーバ1の管理者に配信委託料を支払わなければならない。そこで、配信委託料受納部175は、宣伝情報提供者からの配信委託料受納について待機する。

【0083】ステップS20にて、宣伝情報提供者から送信された配信委託料を配信委託料受納部175が受納したならば、ステップS13へ帰還して、配信部177は、該配信委託料に関わる宣伝情報SJの配信を再開する。

【0084】従って、図1に示した配信物提供サービスシステム100において、図5のフローチャートに示した動作により、宣伝情報SJに関する配信関連情報を宣伝情報提供者に対して発行することにより、宣伝情報SJの再配信、あるいは更新についての連絡をリアルタイムに宣伝情報提供者に行なうことができ、管理者が不断の監視を行なわずとも宣伝情報SJの配信管理を行なうことが可能な、配信物提供サービスシステムを提供することができる。

【0085】「変形例」なお、これまでの説明では、イベント実行配信回数ECについて、コンテンツCT、あるいは宣伝情報SJのヘッダ部にイベント実行配信回数を格納するようにしていたが、イベント実行配信回数に関する情報を集積したデータベースにより、コンテンツCT、あるいは宣伝情報SJにおけるイベント実行配信回数ECを設定するにしてもよい。

【0086】また、これまでの説明では、利用者端末2、コンテンツ提供者端末3、宣伝情報提供者端末4は、それぞれ1つずつネットワーク5に接続されているが、それぞれ複数ずつ利用者端末2、コンテンツ提供者端末3、宣伝情報提供者端末4をネットワーク5に接続するようにしてもよい。

【0087】さらに、ステップS18からステップS20における宣伝情報SJの配信中止、および配信委託料受納については、次のように処理するようにしてもよい。

【0088】宣伝情報SJの宣伝情報配信回数SCがイベント実行配信回数ECWに達したならば、配信委託料支払発行部1744が配信委託料支払通知を、該宣伝情報SJの提供者である宣伝情報提供者端末4に発行する。配信委託料受納部175は、宣伝情報提供者端末4から配信委託料受納について、一定期間待機する。配信委託料受納部175の待機期間内に宣伝情報提供者端末4からの配信委託料支払が行なわれない場合、配信部177は該宣伝情報SJの配信を中止する。こうすれば、宣伝情報SJの配信回数がイベント実行配信回数ECWに達したとしても、宣伝情報SJの配信が即座に終了することはないので、宣伝情報提供者は、配信委託料受納部175における待機期間中、該宣伝情報SJについて配信を継続するか中止するかを検討することができ、宣伝情報提供者により利便性のあるサービスを提供することができる。

【0089】また、配信委託料受納部175が、待機期間後、宣伝情報提供者端末4から配信委託料を受納した場合、配信部177により、該宣伝情報SJの配信を再開するようにしてもよい。こうすれば、一度配信が中止になった宣伝情報SJについても再度配信が可能になるので、宣伝情報提供者により利便性のあるサービスを提供することができる。

【0090】あるいは、宣伝情報配信回数SCがイベント実行配信回数ECWに達しない間に、配信委託料受納部175が宣伝情報提供者端末4から配信委託料を受納した場合、宣伝情報配信回数SCがイベント実行配信回数ECWに達したとしても、配信部177による宣伝情報SJの配信を中止することなく、継続するようにしてもよい。こうすれば、宣伝情報配信回数SCがイベント実行配信回数ECWに達しても、宣伝情報提供者が宣伝情報SJに対する配信委託料を先払いしておけば、該宣伝情報SJの配信が中止になることはないので、宣伝情報提供者により利便性のあるサービスを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】配信物提供システム100の構成を説明するための図である。

【図2】サーバ1の構成を説明するための図である。

【図3】配信物提供サービスシステム100における、

コンテンツCT配信に関わる配信物関連情報発行処理の全体的な動作を説明するためのフローチャートである。

【図4】コンテンツCTのデータ構成を説明するための図である。

【図5】配信物提供サービスシステム100における、宣伝情報SJ配信にかかわる配信物関連情報発行処理の全体的な動作を説明するためのフローチャートである。

【図6】宣伝情報SJのデータ構成を説明するための図である。

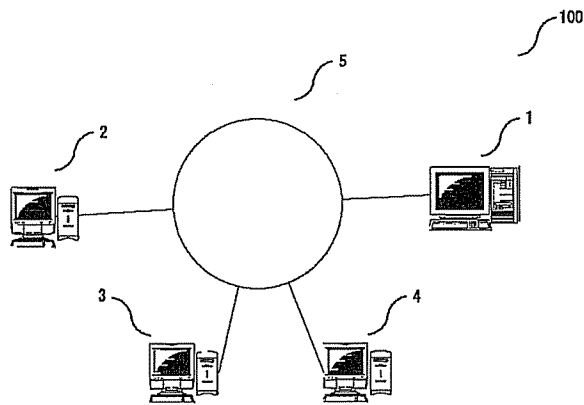
【符号の説明】

- 1 サーバ
- 2 利用者端末
- 3 コンテンツ提供者端末
- 4 宣伝情報提供者端末
- 5 ネットワーク
- 11 CPU
- 12 表示部
- 13 入力部
- 14 ネットワークI/F
- 15 メディアドライブ
- 16 記憶部
- 17 メモリ
- 18 メディアディスク
- 100 配信物提供サービスシステム
- 171 配信物格納部
- 172 イベント実行配信回数設定部
- 173 配信カウンタ
- 174 配信関連情報発行部
- 175 配信委託料受納部
- 176 コンテンツ配信利益分配部
- 177 配信部
- 1711 コンテンツ格納部
- 1712 宣伝情報格納部
- 1731 コンテンツ配信カウンタ
- 1732 宣伝情報配信カウンタ
- 1741 コンテンツ配信状況発行部
- 1742 新規コンテンツ提供依頼発行部
- 1743 コンテンツ配信利益分配情報発行部
- 1744 配信委託料支払発行部
- CC コンテンツ配信回数
- CP コンテンツ利用ポイント
- CT コンテンツ
- EC イベント実行配信回数
- ECH コンテンツ配信状況イベント実行配信回数
- ECN 新規コンテンツ提供依頼イベント実行配信回数
- ECR コンテンツ配信利益分配情報発行イベント実行配信回数
- ECW 宣伝情報配信委託料再支払イベント実行配信回数

SC 宣伝情報配信回数
SP 宣伝情報視聴ポイント

SJ 宣伝情報

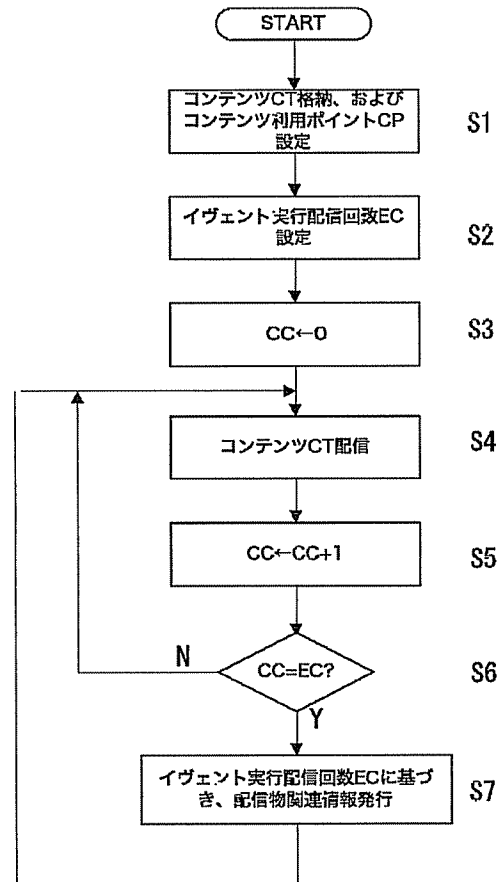
【図1】



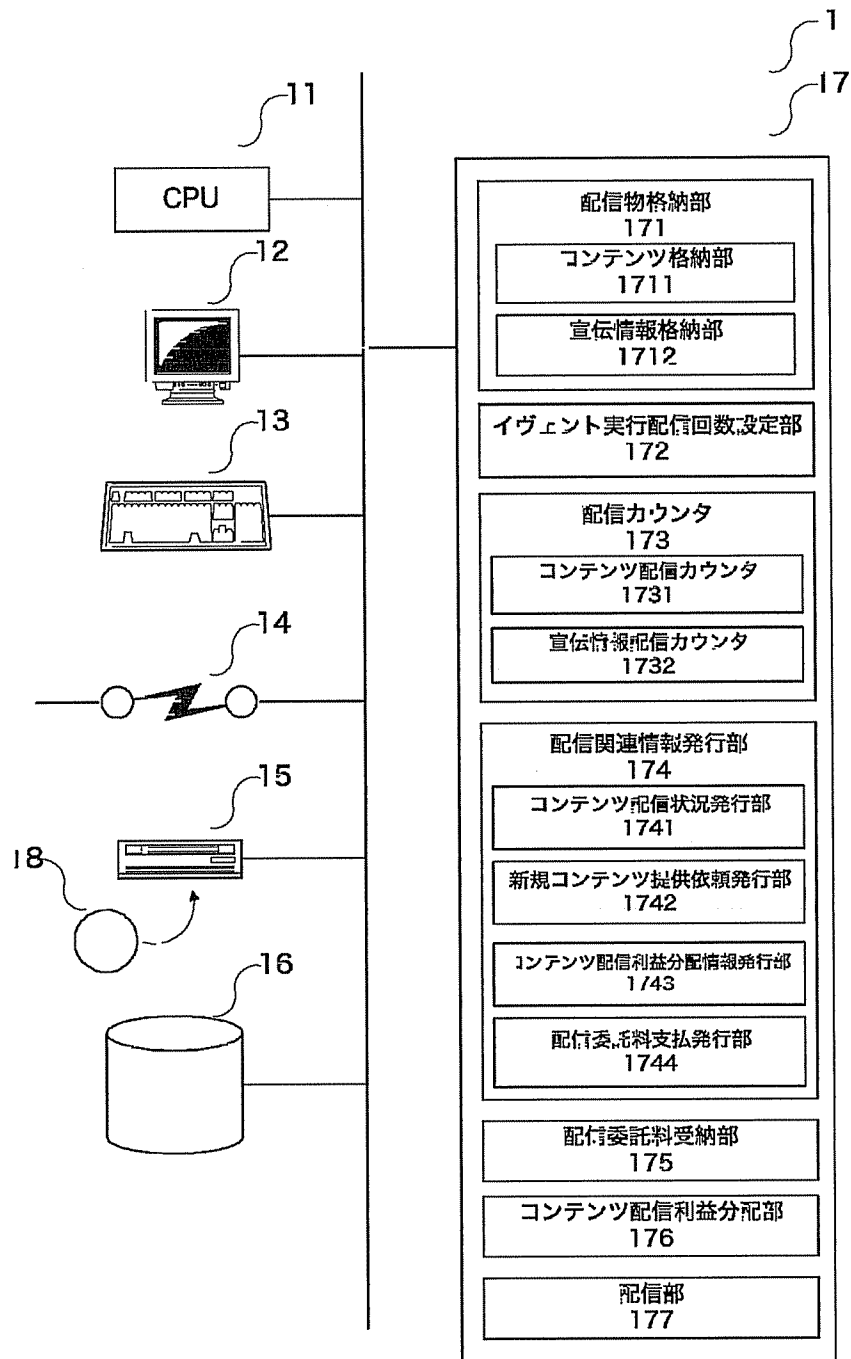
【図4】

コンテンツデータ名 fishing.mpg
コンテンツ名称 Let's Fishing
コンテンツ形式 MP:EG
コンテンツキーワード スポーツ, 釣り
コンテンツ利用ポイント 100p
イベント実行配信回数 ECH:every 100 ECN:only 10000 ECR:every 1000
コンテンツデータ

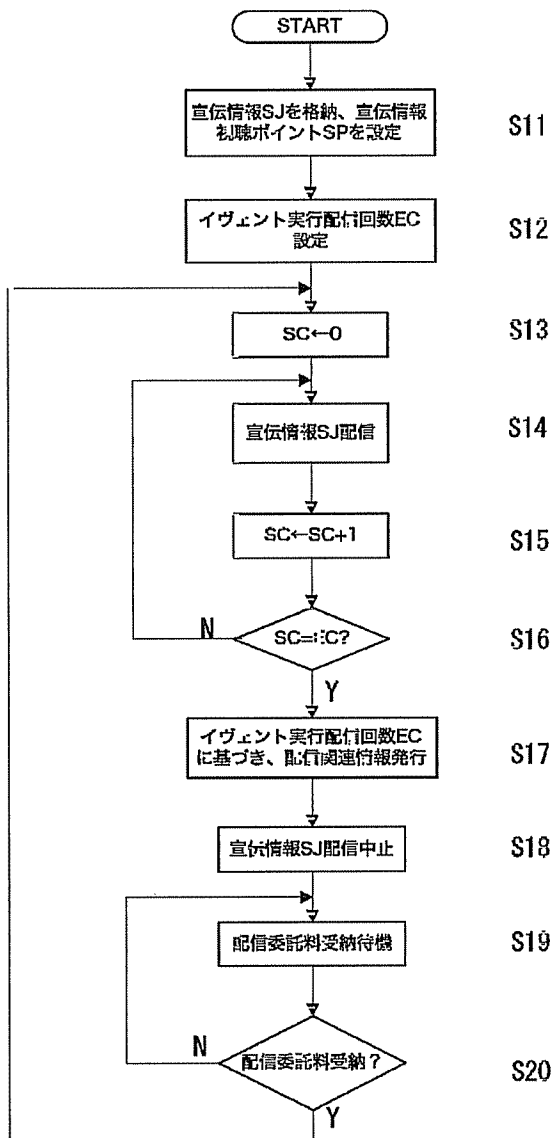
【図3】



【図2】



【図5】



【図6】

宣伝情報データ名 lureCM.mpg
宣伝情報名称 ルアー宣伝
宣伝情報形式 MP:EG
宣伝情報キーワード スポーツ、釣り
宣伝情報視聴ポイント 25p
イベント実行配信回数 ECW:only 10000
宣伝情報データ